

班一番号	事業名	担当課名
1-8	郷土資料館維持管理事業	郷土資料館
評価結果		コメント(仕分けの理由・今後に向けての提案等)
1 不要	0人	
2 民間	0人	
3 大磯町 (要改善)	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・町事業として存続させる意味を再検討する。存続させる場合は活用策を広く検討する。 ・有料化をはじめ、収入増の方策を考える。 ・観光客誘致策を別途立案する。 ・20年間同じ展示はまずい。 ・使用料とコストのバランス。使用料について再度検討すべき。 ・事業をもっと実施すべきと考える。 ・利用者アンケートを取り、町内、町外の割合を計り、それにより方向性を再度検討すべき。 ・資料館維持にかかる費用を全体として見たとき（建設・維持管理・事業運営）のコストを意識し、それだけの負担を住民に納得してもらえるような館運営をしていくべきと考える。 ・文化は重要になっていくと思われる。今後事業を継続していくためにも、財源確保策は必要なことである。寄附税制や、観光客から料金を取り、自主財源確保の努力を進めるべきであると考え。
4 大磯町 (現行どおり)	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と文化は大磯町民にとっても貴重な財産である。これを魅力的な形で展示公開、協働していくのは町としての義務と考えるべき。有料化は考えていくべき。
最終判定	大 磯 町 (要 改 善)	